

令和8年度入学者用

入 学 案 内

犬山市立東部中学校

犬山市羽黒朝日六丁目1番地

TEL (0568) 67-7401

FAX (0568) 69-0744

目 次

	ページ
はじめに	3
1 学校運営方針	4
2 学校について	4, 5
3 学習について	5, 6
4 生活について	6~9
5 学校納付金について	10
6 年間行事計画について	10
7 通学団・通学路・自転車通学 許可範囲について	10

はじめに

犬山市立東部中学校に入学する皆さんへ

東部中学校へようこそ。中学校の制服を着て、東部中学校の校門をくぐる日がもうそこまで来ています。不安とワクワクが入り混じっていることでしょう。中学校には頼りになる上級生や先生たちがたくさんいます。先輩たちのほとんどは、昨年度以前に小学校のお兄さんお姉さんとして皆さんが頼りにしてきた人たちです。そして今、皆さんの入学を心待ちにしています。安心して入学してください。

東部中学校には、東小学校・池野小学校・羽黒小学校の3つの小学校を卒業した皆さんが通ってきます。各学年は100名から120名ほどです。小学校よりも多くの新しい友達との出会いが待っています。中学校の友達は、これから生涯にわたって親しく付き合っていく、地元の大事な仲間となるはずです。

中学校生活は、学習や部活動など、小学校での生活の様子と大きく変わってきます。授業については、毎時間教科の先生が替わります。小学校の授業でも教科ごとで担当の先生が替わった授業もあると思いますが、全教科が教科担任制という授業となります。教科の専門的な知識をもった先生が指導にあたり、1時間の学習をより専門的に指導してくれます。また、学校生活においても授業・生徒委員会・部活動や縦割り活動など、多くの場面での出会いがあり、各活動の充実を目指して、生徒自身が運営していく活動を目指しています。学校中の生徒がつながりや仲間を大切にし、コミュニケーションを取りながら、信頼の「絆」を築いていきます。「東部中学校の生徒でよかった」と思える3年間にていきましょう。

保護者の皆様へ

今春の中学校へのお子様のご入学、誠におめでとうございます。東部中学校の生徒・職員一同、心よりお待ちしております。

さて、中学校3年間は、心も体も大きく成長し、大人へと近づく時期です。一方で、ご存じのようにさまざまな不安や葛藤から心が不安定になる時期でもあります。学校生活や学習等についても小学校から大きく変化し、中学校生活に慣れるのにしばらく時間がかかるかもしれません。また、学校は育った環境が異なる人たちの集まりです。それぞれの家庭での価値観や習慣も異なります。様々な活動を自分たちで計画し、実行していく機会も増えますが、人間関係でのトラブル、学習の悩み等、よいこともあります。また、社会が急速に進化を遂げ、地球環境の変化が大きくなるにつれ、教育活動の内容をどんどん変化させていかなければならなくなつたのも事実です。

しかしこのような中、中学校3年間で今までにはない様々な経験を通して成長していきます。私たち大人は子どもが失敗しないように先回りをして道を造ってあげるのではなく、身近で見守りながら、苦労を含めたさまざまな経験をさせていく中で、必要に応じて正しい道に導く存在でありたいと考えます。子どもたちが自ら考え判断し、実行する。失敗したらどう改善したらよいかまた考え実行する。そして困ったときには、仲間とともに力を合わせてさまざまな壁を乗り越えてほしいと願います。子どもたちには苦労を仲間とともに乗り越え、「自立」と「共生」の力を身に付けてほしいと考えています。

保護者の皆様には中学校生活が見えない分、いろいろとご心配があることと思います。東部中学校は家庭や地域に開かれた学校を目指しています。何かありましたら、気軽にご相談ください。いつでも来校され、学校の様子をご覧いただいてもかまいません。ホームページも随時更新します。これからも家庭と学校が力を合わせてともに考え、子どもの成長を支えていきましょう。

犬山市立東部中学校
校長 小竹 摩記

1 学校運営方針

(1) 教育目標（めざす生徒像）

強 <・・・心身ともにたくましく、勉強・運動に励む生徒
正しく・・・規範意識を備え、自らを律し正義を愛する生徒
豊かに・・・互いに励まし合い、夢や希望を実現しようとする生徒
伸びる・・・互いに学び合い、共に伸びようとする生徒
⇒ 自立・共生の育成 「自分の考えをもち、仲間と共に主体的に活動できる生徒」

(2) めざす教職員像

P ポジティブ（前向き・主体的）・・・プラス思考で主体的に行動する教職員
F フレキシブル（柔軟性）・・・多様性を尊重し、柔軟に対応する教職員
F ファシリテーター（つなぎ役）・・・生徒同士をつなぎ、生徒を伸ばす教職員

(3) 経営方針（めざす学校像）

「みんなが主役 みんなで創る東部中」をスローガンに以下の学校をめざします。

※ みんな=生徒・保護者・地域の方・教職員

- ① 生徒・教職員がやりがいを感じながら楽しく生活できる学校
- ② 生徒・保護者・地域・教職員が学校運営に主体的に参画する学校
- ③ 積極的に業務改善を推進する学校

(4) 重点努力目標

目標を達成するために、以下のことを重点的に取り組みます。

- ① 豊かな心の育成
道徳や健康教育を通して物事を前向きに捉える生徒を育てるとともに、特別活動を要として、生徒の考え方やアイデア、多様性を尊重した主体的で創造的な教育活動を推進する。
- ② 確かな学力の育成
研究テーマ「つながる 教師力向上を目指して」のもと、学び合いによる授業改善を推進し、主体的に学ぶ生徒を育成するとともに、個別最適な学びを推進し学力向上を図る。
- ③ 家庭・地域との連携
積極的に学校の情報を家庭や地域に発信するとともに、PTAや東中を育てる会（学校運営協議会）を中心にして家庭や地域の学校運営への主体的な参画を図る。
- ④ 業務改善の推進
学校評価（学校生活アンケート等）をカリキュラム・マネジメントのPDCAサイクルの要として、生徒や保護者、地域、教職員の考え方やアイデアを取り入れ、働き方改革と業務改善を推進する。

2 学校について（令和8年1月現在、生徒数は見込み）

(1) 教職員数 校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員、栄養職員、支援員、図書館司書、校務支援 合計 38 名

(2) 生徒数（令和8年 1月現在での来年度予定人数）

新1年生：106名、新2年生：117名、新3年生：100名 合計 322名

(3) 日課表 Aタイム50分授業 Bタイム45分授業

8:20登校完了 8:30着席

	A1タイム	A2タイム	B1タイム	B2タイム	Cタイム
S T	8:30~ 8:45		8:30~ 8:45		
1時間	8:45~ 9:35		8:45~ 9:30		
2時間	9:45~10:35		9:40~10:25		
3時間	10:45~11:35		10:35~11:20		
4時間	11:45~12:35		11:30~12:15		
給食	12:35~13:15		12:15~12:55		
清掃	13:20~13:35		13:00~13:15		
昼放課	13:35~13:50		13:15~13:30		13:00~13:15
昼学習	13:50~14:05		13:30~13:45		
5時間	14:10~15:00	13:50~14:40	13:50~14:35	13:30~14:15	13:15~14:00
(S T)	15:05~15:15	14:45~14:55	14:40~14:50	14:20~14:30	14:05~14:15
6時間	15:10~16:00	14:50~15:40	14:45~15:30	14:25~15:10	14:10~14:55
S T	16:05~16:15	15:45~15:55	15:35~15:45	15:15~15:25	15:00~15:10
	部活動・生徒会（委員会・生徒議会）				

※部活動のない月曜日または木曜日の、昼学習の時間を中心に読書タイムや、教科学習が入ったり、授業後に委員会が入ったりすることが多くなります。

3 学習について

各教科の重点目標と達成するための取組

「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行っています。

	重 点 目 標	取 組
国語	国語の表現力や理解力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深める。	・基礎的・基本的な知識・技能を活用して、課題を探求することができるよう、言語活動の充実を図る。 ・「話すこと、聞くこと」「書くこと」「読むこと」を互いに関連づけながら国語能力の定着に努める。
社会	広い視野に立って、我が国の国土と歴史の理解を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な資質の基礎を養う。	・社会に対する関心を高め、仲間との交流を通して自分の考えを深め、表現できる生徒の育成を図る。 ・諸資料に基づいて、多面的・多角的に考察する能力を育成する。
数学	数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、習熟を図る。また、論理的に思考する能力の育成を図る。	・小テスト・単元テストを活用し、基礎基本の定着を図る。 ・少人数授業を効果的に活用し、個別指導に努める。 ・学び合い活動により、多面的・多角的な思考力を高める。
理科	自然に親しみ、見通しや目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探求する能力と自然を愛する心情を育てる。また、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	・身の回りの素材や身近な自然を積極的に教材化し、自然の事物・現象に対する関心を高めるとともに、生徒の自主的な学習を促す。 ・一人一人の生徒が主体的に問題解決できる能力を養うとともに、多面的・総合的に解決していく能力を高める。

音楽	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	・楽しく音楽にかかり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 ・さまざまな音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聞くようにする。
美術	表現や鑑賞の能力を伸ばし、美術を愛好する心と豊かな情操を養うとともに、生活の中の美術の働きや美術文化についての理解を深める。	・発想力や構想力を伸ばすための課題設定や授業の展開を工夫し、積極的な制作活動や鑑賞活動を通して、作品や言葉による美術的表現力を高める。
保健体育	生涯にわたり自ら運動やスポーツに親しみ、体力の向上を図る態度を養うとともに、心身の健康を適切に管理し、自他の安全に対する意識を高める態度を養う。	・学習形態を工夫することによって、個に応じた指導の充実を図り、自己の能力に適した課題を選択することができるよう、運動種目や技能の弾力化を図る。
技・家	生活と技術の関わりについて関心をもち、進んで生活を工夫し、創造する能力及び実践的な態度を育てる。	・基礎・基本の定着を図り、生徒一人一人の発想をもとに工夫し、創造させる学習の場を設定する。
英語	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、実践的なコミュニケーション能力の基礎を養う。	・TTや少人数授業指導を通して、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。 ・Listening, Speaking, Reading, Writing の4技能の定着を図るための、効果的な指導方法を研究する。 ・新しい文法は反復練習や、それを用いた言語活動を十分に行うなどして基礎基本の定着を図る。
特別の教科 道徳	各教科、総合的な学習の時間、特別活動等との関連を図りながら自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性や道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	・教材に合った指導方法を工夫し、自己の考えを基に書いたり討論したりするなど表現する機会を充実し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感できるようにする。

4 生活について

(1) 登下校について

① 登下校の約束

- ア 交通ルールを守り、安全に心がけること。
- イ 指定の通学路をすること。
- ウ 自転車は、学校行事、部活、地域クラブ等の移動で使うことが多いと思います。
愛知県では自転車保険の加入を義務と規定されているので、自転車を利用する場合はご加入ください。

② 自転車通学

- ア 自転車通学の範囲は巻末を参照。
- イ 自転車通学者の心得
 - ・ ヘルメットを必ず着用する。（自転車通学者のみ、入学時に学校で配布します）
 - ・ 雨天時には雨カッパ（男女ともズボン式のもの）を必ず着用する。
 - ・ スタンドは、両立スタンドとする。

- ・ 荷台にかごを取り付け、荷物を入れるようにする。
 - ・ ハンドルは、正規品を基準とし、トンボハンドルやセミアップハンドルとする。
 - ・ 通学路で歩行者とすれ違う場合は、歩行者優先を遵守する。
- ウ 熱中症対策として、臨時の自転車通学許可を行うこともある。（6月～9月）

③ 登下校の時刻

ア 登校時刻 …… 8：20（8：30着席）

イ 始業時刻 …… 8：30（朝のS T開始）

ウ 下校時刻

月	部活終了	下校完了	月	部活終了	下校完了
4	16：15	16：30	10	16：15	16：30
5	16：30	16：45	11	16：15	16：30
6	16：30	16：45	12	16：15	16：30
7	16：30	16：45	1	16：15	16：30
8	16：15	16：30	2	16：15	16：30
9	16：15	16：30	3	16：15	16：30

（2）部活動について

3年間の継続した活動を通して、心身の発達と調和のとれた個性の伸長を図り、より充実した学校生活を築かせるようにします。（希望参加制とします。）

来年度の部活動

〈男子〉・軟式野球・バスケットボール・ソフトテニス

〈女子〉・卓球・バスケットボール・ソフトテニス

〈男女〉・サッカー・吹奏楽・美術

* 昨年度R7 4月から硬式テニス、ソフトボールの募集はありません。

* R8（この4月～）は、バレーボール、ハンドボールの募集はありません。

* 入部までに、見学・体験を行って決めます。

* 部活動に関する道具は、入部後顧問の指示があるまで、購入をしないでください。

（3）身なり・服装などについて

① 頭髪について

ア 清潔で、学習・運動に適した髪型とする。

イ 技巧を凝らさず、整髪料や髪の色が変わったりするものは使用しない。

ウ 髪の長さについては、学習・運動に支障がないように自ら考えるようにする。

エ 化粧はしない。

※ 学習・運動に適さない髪について

● 髪に整髪料を付けたり、カール・パーマ・ブローなど技巧を凝らすもの。

● 髮の色を地毛ではなく変色させたもの。

● 極端なデザインカットをされているもの。

② 制服について

	I 型	II 型
冬 服 4月から5月 10月から3月 を目安とする	<ul style="list-style-type: none"> ・紺色ブレザー ・白・水色の長袖シャツ ・チェックの長ズボン ・ネクタイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・紺色ブレザー ・白・水色の長袖シャツ ・リボンまたはネクタイ ・チェックのひだスカートまたは チェックの長ズボン ※スカートはひざがかくれる 程度の長さ 
夏 服 6月から9月 を目安とする	<ul style="list-style-type: none"> ・白または水色の 半そでシャツ・ポロシャツ ・チェックの長ズボン 	<ul style="list-style-type: none"> ・白または水色の半そでシャツ・ポロシャツ ・チェックのひだスカートまたは チェックの長ズボン ※スカートはひざがかくれる 程度の長さ 

※ 上記は、入学式や卒業式、始業式、終業式、文化祭等の学校行事の正装となります。

※ 5月～10月を目安に、熱中症対策として体操服登校が許可されます。

※ 冬服・夏服の移行期間は設けていません。

③ セーター・ベスト・カーディガン（防寒用）について

- ・カッターシャツやシャツの上、セーラー服の中または上にセーター・ベスト・カーディガンを着用してもよい。

色は白・黒・紺・ベージュ・グレーなどの無地のものとします。（ワンポイント可）

④ 肌着について

- ・白・黒・紺・ベージュ・グレーなどの無地のものを着用します。（ワンポイント可）

⑤ 靴下について（ワンポイント可）

- ・白・黒・紺・ベージュ・グレーなどの無地で、華美でないものを着用します。

⑥ 通学靴について

- ・白・黒・紺などの運動に適した靴を使用します。（ワンポイント可）

*華美なものや革製の靴、高価なもの、体育の授業時に運動に適さない物は使用しません。

⑦ 上履き靴 及び 体育館シューズについて

- ・上履き靴…白色の上履き靴（白色の上履き靴であれば、市販の物でも構いません。）

*令和6年度より学年色のラインをなくしました。

- ・体育館シューズ…東部中学校指定の学年色の入った体育館シューズ

*令和8年度の学年色は黄色です。シューズ袋もご用意ください。（学年①黄②緑③青）

⑧ ナップサックについて

- ・黒を基調とし、両肩に背負えるリュックタイプで、一日の授業の用意が入るものを使用します。

*授業の用意（教科書・資料等）は学校へ置いていくことができます。

⑨ 名札について

- ・学校指定の名札を校内で付けます。（入学時に配付します。）

⑩ 運動時の服装について

- ・体育時の服装は男女とも学校指定のものを使用します。

体操服上	学校指定の体操服（半袖）、学校で購入したTシャツ等
体操服下	学校指定のハーフパンツ
ジャージ	学校指定のジャージ（長袖・長ズボン）

⑪ 防寒具について

- ・冬季登下校の際、部活動等で使用しているウィンドブレーカーやそれに準じるウィンドブレーカー、防寒コート等の着用を認めています。

色は黒・紺・ベージュ・グレーなど無地で華美でないものでダッフルコートやフード付きのコートは不可とします。

- ・手袋は冬季登下校の際、使用できます。（無地で飾りのないもの）

*手袋は安全確保のため5本の指に分かれたものとします。（ミトン型は不可）

*マフラー・ネックウォーマーの使用もできます。

⑫ 雨具について

- ・雨や雪がひどい時は、長靴などを履いてもかまいません。また、自転車通学者は白系統の上下に分かれたカッパを着用します。

(4) 学生服など学校の指定品の購入について

東部中学校指定品（学生服や学校指定品）の購入できるお店

店名	場所	電話	体操服	ジャージ及び ハーフパンツ	上履き	体育館 シューズ
清水屋 犬山橋爪店	犬山市橋爪	39-6700	○	○	○	○
学生服の イトウ	ヨシヅヤ専門店街	61-0389	○	○	○	○

5 学校納付金について

給食費、学年費、生徒会費、宿泊行事費、PTA会費（PTAより依頼）の学校納付金は、紛失・盗難等の事故防止のため、指定金融機関の保護者様の預金口座からの振替により集金を行っています。安全かつ効率的に集金事務が進みますようご協力をお願いします。

(1) 指定金融機関 名古屋銀行（各支店）

(2) 振替日等 年間9回に分けて振替予定です（毎月上旬頃を予定）

振替日の前日までにご入金をお願いします。詳細は、ご入学後にお知らせします。

(3) 振替項目内訳（予定）

項目	備考
給食費	1食380円×食数
学年費	補助教材費、美術・技術・家庭科実習費、学年活動費 等
生徒会費	月額100円
宿泊学習費	2年生で実施のため、1年生時に積立予定
修学旅行費	3年生で実施のため、2年生時に旅行業者を通じて積立予定
PTA会費	月額400円

(4) 振替不能の場合 学校から振替不能のお知らせをお渡しします。再度の振替もしくは、現金により集金させていただきます。

(5) その他

- ・欠席での行事不参加や、欠食等での返金が生じた場合は、お届けの口座へ返金（振込み）させていただきます。
- ・教材費の一部について、保護者様から教材業者へ直接のお支払いを予定しています。
令和7年度は、12,000円程度。10月上旬にお知らせ予定。

6 来年度行事計画について

別紙 年間行事計画予定表でご確認ください。（1月現在のものとなります）
※今後、変更されることがあります。

7 通学団・通学路・自転車通学許可範囲について

（流れ 1）QRコードを読み取っていただくと、【東中通学団君 アプリ】が起動します。

（流れ 2）画面下の入力欄に、ご住所を入力ください。

東部中学校における通学団・通学路・自転車通学許可範囲かどうかを判断いたします。

※ データベースで個人情報を扱っておりませんのでご安心ください。入力いただいた住所の緯度経度から判断しております。入力いただいた住所も記録しておりません。

アプリ開発者 教務主任 東郷弘晃

